

本館棟1階の内装を木質化

岐阜県森林研究所

岐阜県森林研究所(岐阜県美濃市、古川邦明所長)で進められていた本館棟1階の内装木質化工事がこのほど完了した。県産杉・

檜を床や壁に活用しているのが特徴で、工事費は約1855万円。今後は、木材利用推進をPRする場として活用していく。

木質化されたのは本館棟1階ホールと廊下部分の約178平方メートルで、床材には県産檜のフローリングボードとフローリングブロック(桧50%圧縮強化材と県産材合板との複合部材/UVセラミック塗

県産材で木質化された1階ホール



装)を、壁材には県産杉の準不燃仕様羽目板(クリア塗装)と県産檜の不燃仕様ストランドボードを使用している。また、壁材の下地胴縁や見切材にも県産杉材を採用し、据え付けのパンフレット書架には県産檜材を使用した。